

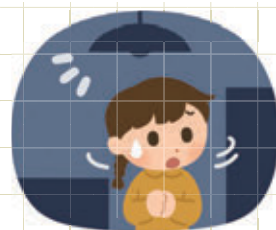


きっと家族の
命をつなぐ。
きっとその時
役に立つ。



No.
06

防災の日こそ、もしもの備えを進めよう！ 停電時に取りるべき行動は？



9月1日は「防災の日」。台風や高潮、津波、地震など、さまざまな災害について改めて理解を深め、対処する心構えをするために制定されました。kitではこれまで、さまざまな災害への対応策を伝えてきましたが、今回はあらゆる災害時に起こりうる「停電」について考えていきましょう。

停電は落雷や強風などの影響で突発的に起きることもあります。現代において「電気が全く使えない生活」を経験することはほとんどありません。それだけ電気は私たちの生活に根付いたライフラインの一つです。停電が長引く場合の影響を最小限にとどめるために、停電中に取りるべき行動と知識を身につけておきましょう。



スマホの充電確保



省電力モードにしてモバイルバッテリーを手元に置きましょう。他の電気製品と共用できる電池式もおすすめです。

ラジオで情報収集



電池で動くポータブルラジオがあれば停電中の情報収集も安心。ナテックの防災セットには多機能ダイナモラジオライトが含まれるものもご用意しています。

車の空調を使う



停電中でも冷暖房が使える車は貴重な環境です。ガソリン残量の確認を行いつつ、一酸化炭素中毒にならないように気を付けて活用を。

懐中電灯を手元に



室内の移動時でも夜間は懐中電灯が必須。部屋の照明スイッチの近くなどに置き場所を定めておきましょう。

コンセントを抜く



「通電火災」のリスクを減らすため、避難時は家電のコンセントを抜きましょう。家を離れる際はブレーカーを切るのもおすすめの対策です。

冷蔵庫の食べ物を確認



停電後、冷蔵庫の冷気が保たれるのは3時間程度。肉などの生ものは傷む前にカセットコンロで加熱しておくとう安全です。

ママのための 防災ヒント

停電時の赤ちゃんの ミルクと食事の用意



停電が起きると、哺乳ボトルを除菌する手段が限られてしまいます。乳幼児のいる家庭は、電気がなくても除菌に困らずにミルクをあげられるよう、使い捨て哺乳ボトルや液体ミルクを用意しておきましょう。

また離乳食を与えている場合は温め不要のレトルト離乳食を用意しておくことがおすすめ。被災時に「いつもと違う離乳食をなかなか食べない」という事態にならないよう、ストックする際に子どもの口に合う「レトルト離乳食」を見つけておけるといいですね。

暗闇で過ごす不安を軽減!

災害時における暗闇は人を不安な状態にさせ、緊張感と疲労感を高めてしまうので、光源を備えておくといよいでしょう。ナテックの防災セット(一部)には、ダイヤル式で明るさを簡単に調節可能なランタンがあります。「ダイナモソーラーライト」はスマホの充電にも活用可能です。



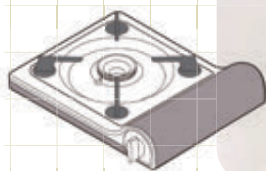
突然の停電で 慌てないために…



電気が使えない生活に備えて知識を蓄えておくことと同時に、いざ停電が起きたときに役立つグッズを備えておくことも大切です。有事の際に慌てないために自宅の備えを点検しておきましょう。

体を拭くタオルを温める
お湯もつくれる!

加熱調理器具は食事の衛生管理に活用を



電気を必要としないカセットコンロは日常的にガスを切らずストックしておくのがポイントです。乳幼児のいる家庭では、電気のいらない防災用の湯沸かし器があればお湯でミルクの調乳ができます。併せて使い捨て哺乳ボットの準備を。加熱を必要としない食料を常備しておくとなお安心です。

冷暖房の使えない厳しい環境から身を守る

暑さ・寒さが厳しい場合は空調が使える車中の避難も選択肢の一つ。「ウインドウネット」があれば夏場に虫の侵入を防ぎながら換気ができ「マグネット・ウインドウカーテン」で日差しをシャットアウトできます。他にも夏なら冷感タオルや、冷却バック。冬はカイロやガストーブなどがあれば便利です!



車中泊なら
空調が使える!



EC サイトにて
バックナンバー公開中!

「一人でも多くの人に“備える”大切さを伝えたい」。ナテックがkitに込めた思いを伝える創刊号から、全号を配信。右の二次元コードからアクセスしてご覧ください。



お問い合わせはkit編集部まで!

住所 〒490-1205 愛知県あま市花正寺浦55番地

TEL 052-449-6222

MAIL natec-emergency@natec01.co.jp

kit No.06

発行者 株式会社ナテック

▲ECサイト